

めるとまず右岸，続いて左岸から支沢が合流するが，この支沢もまたガレ沢である。ここの岩質は，とりわけ不安定のようなのである。

沢の傾斜がやや緩やかになってきた所で，滝が出てきた。まずは4mの滝。クライミングダウンできる。このあと2mの小滝をはさんで，今度は15mの滝。右岸を少し下ったあと，倒木に取り付いて下る。岩質が悪く，すぐ落石が起きるので，一人ずつ下った。

このあとは大川本流まで平凡。10:30大川本流に出て，下降終了とする。

[タイム] 無名沢下降開始(9:10)→下降終了(10:30)

大川支流下ウミ沢 1992年7月26日

L

遡行を始めて15分程で小さなナメ滝が出てきた。この後も所々にナメが混ざった河原歩きが10分程続いた後に，3mと5mの階段状の滝を越える。この上で二俣となった。

左に入り20分程河原歩きをして小休止。この後は3mから4mのナメ滝が続く連瀑帯となり，高度感が出てくる。後線が近づいてきた。8mと3mの急な滝の右岸を捲き，5mの滝を越えた所で遡行終了とし，左側の尾根に向かってヤブこぎに入る。

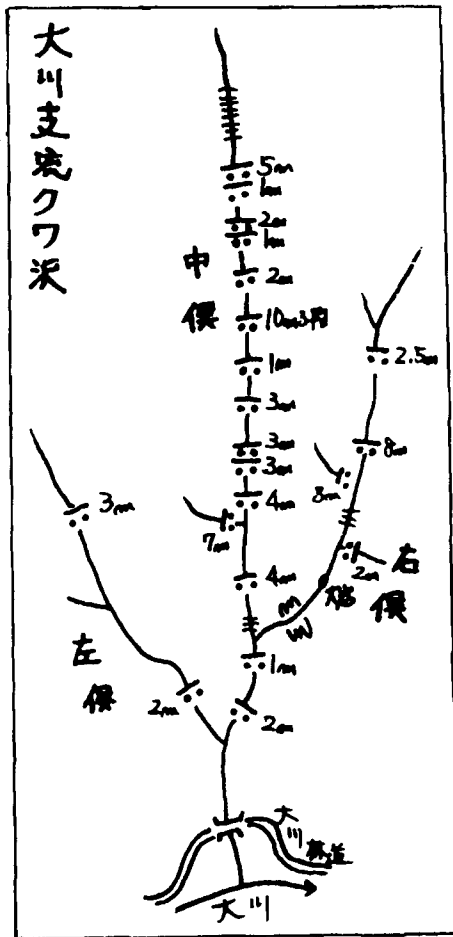
(記・)

[タイム] 遡行開始(8:35)→遡行終了(11:40)

大川支流クワ沢左俣 1992年7月26日

L

クワ沢中俣の遡行後，11時15分，クワの沢左俣めざして下降開始。急斜面の樹林帯から灌木混じりの草付となり，一気に下る。下りついて傾斜が緩やかになっ



でも、水流は現れない。草付の中を尾根から45分下って、ようやく水流が現れた。水流にそって下り始めたところで、3mの小滝。左岸を下る。このあともう1つ2mの小滝が現れただけで、左俣は終了となってしまった。(記・)

[タイム] 左俣下降開始(11:15)→下降終了(12:30)

クワ沢中俣 1992年7月26日

8時15分遡行開始。初めから沢は小さかったが、水量は豊富である。小滝2つを越えて、20分程の遡行で右俣出合。目的の中俣は小さなナメとなっている。現在地がいまひとつはっきりしなかったため、右俣に少し入って確認した後、中俣に入る。

小さなナメを越えると滝が出てきた。4m。右岸を登る。滑りやすく苦勞した。このあと少しずつ間隔を置きながら10m3段の滝のほかいくつもの小滝が出てくるようになる。なかにはホールドが少なかったり滑りやすいものもあるが、すべての滝が直登可能である。小さい沢だが、なかなか面白い。

源頭はナメから急峻なルンゼとなり、最後は灌木帯に突っ込んで、終了となる。遡行終了10時20分。このあと急峻な小尾根のヤブこぎ30分で後線へ。

最後のヤブこぎの最中、小沢をへだてた向いの尾根に、ニホンザルの群れをみつけた。5頭が確認できたが、樹林帯の中にまだ何頭かひそんでいたようである。登りついた尾根上には、随所に赤布がつけられていた。はっきりした踏跡はないが、結構歩かれているようである。(記・)

[タイム] 遡行開始(8:15)→右俣出合(8:35, 9:10)→中俣終了(10:20)→尾根(10:50)